

利用者用 タンデム車マニュアル

目次

1	タンデム車とは	3
2	パイロットの心得	11
3	パイロット走行上の注意	16
4	パイロット養成	20
5	ストークの心得	24
6	ストーク走行上の注意	29
7	装備	34
8	停車時	41
9	発進時	44
10	降車時	48
11	実地走行例	50

1 タンデム車とは



タンデム車とは

2つ以上の乗車装置、
ペダルが縦列に設けられた自転車。
前に乗る人 ⇒ 「パイロット」、
後ろに乗る人 ⇒ 「ストーカー」 と呼
ぶ



タンデム車のよいところ

障害をお持ちの方に
ご利用いただけます
(身体・知的障害者、足
腰の弱い方々等)

ご夫婦やカップルでの
ご利用に最適です
(ヨーロッパではとても
ポピュラー!)



タンデム車の区分

タンデム車 ≠ 普通
自転車

タンデムは「普通自転車」とは異なり、「自転車歩行者通行可」であつても歩道を走ることはできない。

タンデム車の注意点

- ・乗りこなすまでに修練が必要
- ・スピードが出やすい
(40km/時 出ることもある)
- ・車体が長い⇒内輪差に注意

走行場所について

走行できません



自転車歩道通行可

「歩道」は走行できません

走行場所について

適用されません



自転車を除く



自転車を除く



自転車を除く

歩道を通過する場合

- 交通量が多く、歩道を通らざるを得ない場合は、タンデム車を押して歩いてください。
- タンデム車は歩道を走行できません。



走行ルート

- ・ 交通量の少ない道を選び、走行してください。



サイクリングを楽しもう

1時間に1度、
5分程度の休憩を
とること

一定のペースで
走行を心がける

その地域特有の
景色や食べ物など
を堪能する



3 パイロットの心得



ストーカの目となりましょう

- ストーカは前が見えません
- 加減速や停止動作の声掛け必須
- アナウンスを忘れないように！

ペダリングはなるべく止めない

- 急に止めると後ろは大きくバランスを崩すため、大変危険です



合図

- ・ 停車動作や曲がり動作、速度調整で停める場合は、声をかけて「3・2・1」とカウントを入れましょう



バランス取りの主体である

- 直線では二人でバランスをとるが、カーブなどでは、傾ける度合いなどは主体となってとりましょう



4 パイロット走行上の注意



とにかく伝えましょう

- 視覚で判断していることをストー
力に伝える。
- 「加速」「減速」「左折」「右折」「蛇行」
「クランク」「停止」「ペダリングをとめる」etc



とにかく伝えましょう

- 少し振り向くか大きな声で伝える



コーナーの判断

- ・ ペダルを止めて曲がるかを判断し、ストーカに伝えましょう
- ・ ペダルを止める際は、曲がる側のペダルを上に持ってきましょう

4 パイロット養成



5 ストーカーの心得



パイロットの指示に逆らわない

- 加減速、停止動作のアナウンスに合わせて行動する。



ペダリングは急に止めない

- 急に止めると相手が大きくバランスを崩すため、大変危険



合図

- ・ 停車動作や曲がり動作、速度調整で停めるアナウンスの「3・2・1」に合わせましょう



バランスは2人でとる

- ・ 直進は2人でバランスをとるが、カーブなどはパイロットに身を預け、逆らわない。

※自分で曲がろうとしない

6 ストーカー走行上の注意



指示への返事

- ・パイロットからの指示が来た際、聞こえた旨を「はい！」と返事を返しましょう



前をのぞき込まない

- 左右に身体をずらし前をのぞき込まない。



ハンドル操作

- ・原則、ハンドル操作は行わず、ハンドルには手を置く程度に。
- ・パイロットの背に顔面を近づけることで、パイロットの重心移動に沿って動きやすくなります

ペダルから足が外れた際

- ・パイロットに声をかけ、ペダルに足を乗せて、ペダリングを再開させましょう



7 装備





ヘルメット



グローブ



サングラス

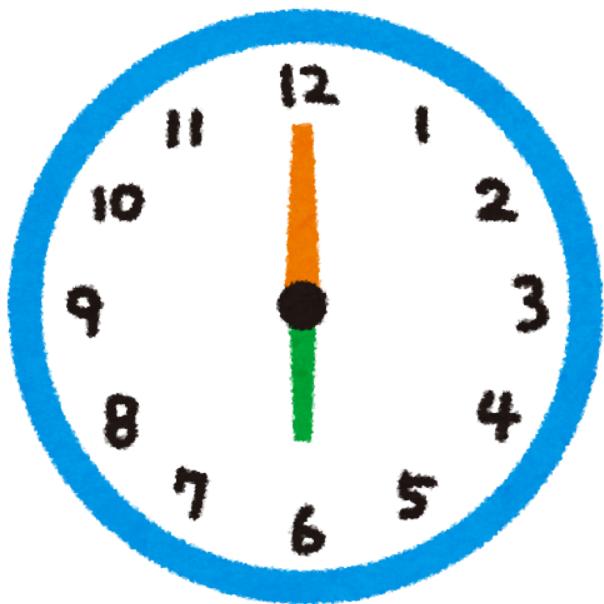
適宜、必要なアイテムを追加する

8 停車時



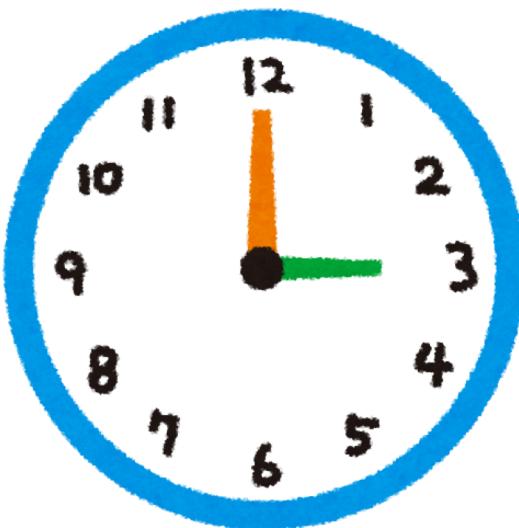
停車準備

- 右ペダルを6時方向で停めましょう



出発準備

- ・ ペダルを3時方向に合わせましょう



9 発進時＆走行時

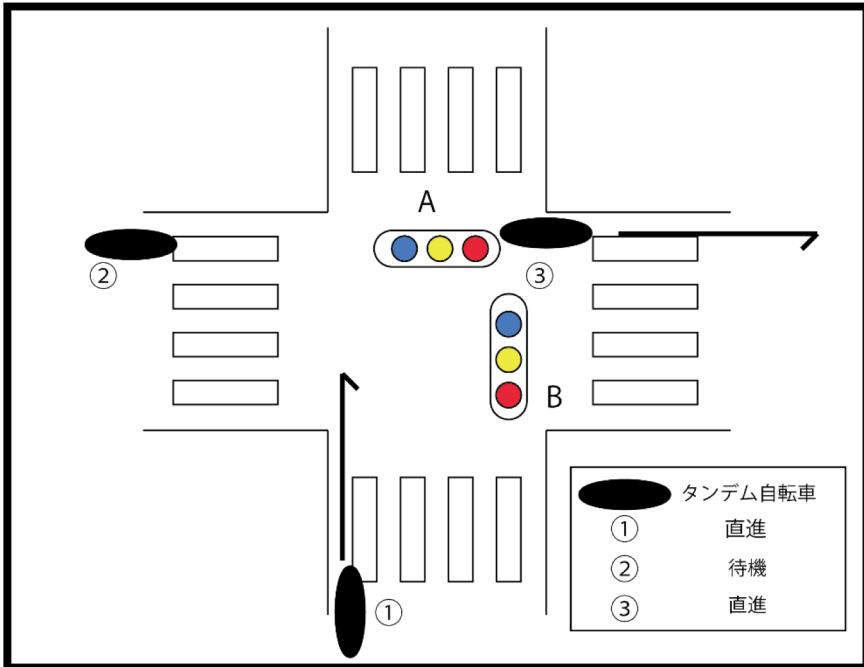


発進時

- ①ストークがサドルに座る
- ②発進
- ③パイロットがサドルに座る
- ④ペダルに両者両足を乗せて漕ぐ

右折

- 必ず、「**二段階右折**」を行いましょう



曲がる時は

- 内輪差に気を付けて曲がる。
- 曲がる側のペダルは上
- ペダルを止めるとときは伝える
- 両者重心を合わせる

※車体をなるべく傾けず、**垂直**にする

10 降車時

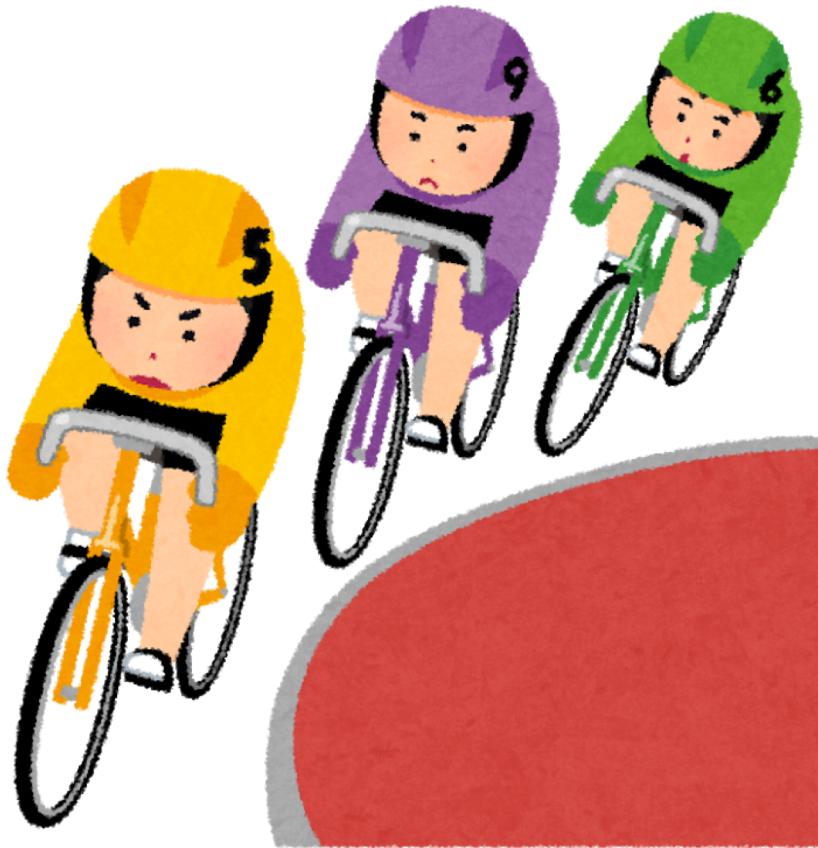


降車時

- ①車体が止まっているのを確認
- ②ストークが降車する
- ③パイロットが降車する

※減速時に降車動作をしない

11 実地走行例



タンデム自転車 實地走行例（近江八幡市 西の湖周辺）



西の湖周辺左回りルート 19km



タンデム自転車 實地走行例（高島市 マキノ周辺）



マキノ周辺省回りルート 15km

1. **※右折するときは2段階右折してください。**

2. **※車道の左側を走りましょう。**

3. **※広い歩道が始まりますが、車道左側を走りましょう。**

4. **※メタセコイア並木 車道側を走りましょう。**

5. **※歩道は走れません。車道左側を走りましょう。**

6. **※国道横断注意。右折するときは2段階右折してください。**

7. **※下り坂、スピード注意。大型車が多いので、路側帯を走りましょう。**

8. **※集落内は車や出会い頭事故に注意。**

9. **※S字カーブ、対向車に注意。**

地図 利用規約 フィードバックの送信 1 km

タンデム自転車 實地走行例（米原↔彦根）



米原↔彦根 右回りルート 15km



一時停止後に交通量の多い道路へ合流する際は、余裕をもって発進しましょう。



見通しの悪いカーブが狭い場合は、速度を落とすとともに、カーミラー等を利用して、安全を確認しつつ走行しましょう。また自転車を押して通行することも考えましょう。



青信号に従い交差点を左折する際は、左折レーンの左寄りを走行し、できる限り躊躇しないように注意しましょう。



一時停止後に見通しの悪い交差点を右折する際は、安全確認後、道路の左端に寄って交差点の向こうまでまっすぐで進み、石に向きを変えて進みましょう。交通量が多い場合は、自転車を押して渡った後に、乗じ込むことを要です。



住宅地内の狭い道路を走行する際は、速度を落とし、歩行者等の飛び出しに十分注意しましょう。



2段階右折(信号機あり)

歩行者多い。通行注意



青信号に従い右折する際は、左折レーンを直進して交差点の向こうまで進み、右へ向きをかけて歩道の左端を進みましょう。



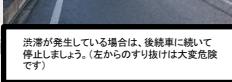
青信号に従い右折する際は、2段階右折をしましょう。(待機する際は、自転車から降りて、で大きな通りを進んで入り徐ely(注)よう)



交差点を直進する場合(左折レーンが指定され、また車線導導器材等で直進が困難な場合)、左折レーンに従い左折後、自転車横断帯を渡りましょう(直進レーンを走行する行為は危険です)。



上り坂で一時停止後に進む際は、自転車を押して交差道路に出た後に発進しましょう。



渋滞が発生している場合は、後続車に続いて停止しましょう。(左からのすり抜けは大変危険です)

安全に楽しくタンデムに乗りましょう♪